別記第１号様式（第３条第１項関係）

公 営 住 宅 入 居 申 込 書

申込者	現住所 本籍地 電　話					ふりがな 氏　　名		
公営住宅に入居する者等	氏　　名		続柄	生年月日	個人番号	職業	勤務先	年間収入
	入居者		本人					
	同居する親族							
	別居扶養親族							
希望の団地等	団地・地区名							
	適　用							

所得計算表

1　所　得　＝ ＝ 所得合計　＝	3　公営住宅法に定める収入月額 所得金額 －　控除金額
2　控除額 給与年金控除額　万円×　人＝ 同居・扶養控除額　万円×　人＝ 老人扶養控除額　万円×　人＝ 特定扶養親族控除額　万円×　人＝ 障害者控除額　万円×　人＝ 特別障害者控除額　万円×　人＝ 寡婦控除額　万円×　人＝ ひとり親控除額　万円×　人＝ 控除額合計　＝	収入年額 収入月額　円 4　年度入居収入基準 円 5　入居収入基準 適合・不適合 6　収入階層 階層

住宅困窮状況	次に掲げる住宅困窮状況のうち該当するものに○をつけて下さい。 1　現在住宅以外の建物又は場所に居住している。 2　保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。 3　他の世帯と同居しているため、著しく生活上の不便がある。 4　住宅がないため、親族と同居することができない。 5　住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又教育上不適切な居住状況にある。 6　自己の責によらない理由で、家主、貸し主などから立ち退きを要求され適当な立ち退き先がない。 7　住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。 8　収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。 9　その他(具体的にお書き下さい。)
現在の住宅の状況	現在居住している住宅の種類 1 借家　2 同居　3 貸間　4 民間アパート　5 賃貸マンション　6 寮 7 持ち家　8 公営住宅(　団地)　9 公団・社団　10社宅　11仮住居 12その他　現在居住している住宅の持ち主　(　) 家賃月額　(　円)
	現在入居している住宅の間取り
	現在居住している世帯構成

このとおり入居の申込みをします。

この申込みについては、次のことを誓約します。

1　この申込書に記載した事項は、全て事実に相違ありません。

2　この申請書に偽りの事項があった場合は、公営住宅入居決定の取消しを受けても異議はありません。

3　この申込書に記入した住宅状況について事実調査をする場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しません。

4　申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族（以下「申込者等」という。）は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第６号に規定する暴力団員ではありません。

5　申込者等が暴力団員であるかどうかについて、警察署長の意見を聴くことに同意します。

年　月　日

池田町長　様

申込者氏名

池田町長　　様

年　　月　　日

同　意　書

下記の者は、池田町が公営住宅法第２５条第１項に基づく事務手続きを処理するために、地方税関係情報を取得することに同意します。

なお、本書の複写は無効であり、本書の提出の際の事務処理に限って同意することを申し添えます。

同意者	フリガナ		生　年　月　日	年　　月　　日
	氏　　名		申請者との続柄	
	住　　所			□　申請者と同居
同意者	フリガナ		生　年　月　日	年　　月　　日
	氏　　名		申請者との続柄	
	住　　所			□　申請者と同居
同意者	フリガナ		生　年　月　日	年　　月　　日
	氏　　名		申請者との続柄	
	住　　所			□　申請者と同居
同意者	フリガナ		生　年　月　日	年　　月　　日
	氏　　名		申請者との続柄	
	住　　所			□　申請者と同居
同意者	フリガナ		生　年　月　日	年　　月　　日
	氏　　名		申請者との続柄	
	住　　所			□　申請者と同居
同意者	フリガナ		生　年　月　日	年　　月　　日
	氏　　名		申請者との続柄	
	住　　所			□　申請者と同居

記載要領

１　同意する者が自ら署名を行うこと。

２　代理人が同意書に署名する場合、本人からの委任状をとること。

３　申請書等に同意が必要な者の住所を記入している場合、同意書への住所への記入は省略してもよい。

４　同意が必要な者の数が署名欄より多い場合は欄外に記載して差し支えない。